

2021 年度ゼミ (3003 演習 2A/3004 演習 2B) 要覧

担当者名	久保田 浩
演習テーマ	ポスト近代社会において「宗教」を「読む」
校外実習	2021 年 8 月末・9 月初頭あるいは 2022 年 2 月・3 月 (14 日間)
メール・アドレス	frhkubot@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	予めメールにて連絡してください
2022 年度に開講 しない可能性	なし
授業概要	多文化共生社会を目指していくための前提として、「ポスト近代」と特徴づけられるこの社会の現状を批判的に把握する能力が必要とされるが、その中には「宗教」に関する情報を的確に「読む」能力も含まれる。本演習では、特定の宗教事象（出来事、事件、団体や個人の活動等）を選び、調査と分析を進める。「演習 1」では「文化」化した「宗教」をテーマとしたが、「演習 2」では、春学期に「社会問題」化した事象を、秋学期に宗教と／の「社会貢献」に関する事象を扱う。具体的には、①社会における「宗教」の批判的な「読み方」に関する英文テキストを講読し、社会的・文化的現象としての「宗教」を分析する際の理論的・方法論的問題点について検討する。②問いを提起し、調査トピックを見つけ出し、調査・分析を進める。①②とも、グループ単位で、講読テキストの内容の検討と発表、調査・分析ならびにその経過と成果の報告を行う。
学習目標	「宗教」を社会的・文化的現象として取り扱う視座と具体的方法、ならびに「宗教」を巡る諸問題についての情報の処理の仕方を身につけ、社会における「宗教」の役割・機能・意義・可能性・限界等を分析し理解するための批判的能力を獲得する。
授業計画	<p>【春学期】</p> <p>1 ガイダンス、導入講義（宗教による社会批判と社会からの宗教批判）、 2～5 理論・方法論に関するテキスト講読、 6 研究テーマと調査トピックの紹介、 7～10 中間報告、11～14 最終発表、15 総括討論</p> <p>【秋学期】</p> <p>1 ガイダンス、導入講義（公共圏における宗教の可能性と限界）、 2～5 理論・方法論に関するテキスト講読、 6 研究テーマと調査トピックの紹介、 7～10 中間報告、11～14 最終報告、15 総括討論</p>
予習	トピックの調査、テキストの精読、レジュメの作成等発表の準備（基本的にグループワーク）
復習	発表の振り返り、次回の発表に向けての継続調査
参考書	【春学期】 櫻井義秀『「カルト」を問い直す』（2006 年）、【秋学期】 白波瀬達也『宗教の社会貢献を問い直す』（2015 年）。その他授業時に紹介する。
成績評価の 基準	議論への参加度（30%、コメントシートを含む）、複数の発表（40%、講読担当回発表、研究発表）、ミニ卒論（30%）。